

10. 欠陥修正

ユニットテスト実施時に欠陥を検出した場合、ただ欠陥を修正するだけではいけません。
各作業者が手当たり次第修正してしまうと、デグレートが発生してしまい、更なる修正コストと工数が爆発的に大きくなります。

そのため、欠陥を検出した場合の手順を明確にして、手戻りを最小限にしなければなりません。
本章では、欠陥の検出後から再テストまでの手順を説明します。

